

シーズン2年連続特別優秀賞

住宅の断熱性能評価

建築会社のシーズン（富士吉田市竜ヶ丘1丁目、武藤啓史社長）は、住宅建築の断熱

性能が優れているとして、省エネルギー住宅建築を手掛ける事業者の表彰制度「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2021」（一般財団法人日本地域開発センター主催）で2年連続で特別優秀賞を受賞した。

同制度は住宅の省エネルギー性能や快適性などを総合的に評価。省エネルギーに貢献する住宅普及と資質向上を促す目的で毎年実施している。

特別優秀賞は最高位の大賞に次ぐ賞で、全国で96社が受

賞。同社は北海道や東北地域の気候に対応した審査区分に応募し、この区分での特別優秀賞は県内で同社のみ。同社は3年連続で賞を受賞している企業に贈られる「省エネ住宅優良企業賞」も贈られた。



ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2021で特別優秀賞を受賞したシーズン

同社は「家は暮らす人の健康と財産を守るもの」（武藤社長）として、寒暖差の激しい富士北麓地域でも快適に暮らせる家造りを追求し、外気に影響されない高断熱で気密性が高い住宅を提案。北海道建設技術協会が断熱材の設計施工の専門家として認定する資格「BIS認定」を全社員が取得している。武藤社長は「30年後に誇りを持ってもらえる、カーボンニュートラルな住宅を提供していきたい」と話していた。〈坂本尚己〉